福岡市まち・ひと・しごと総合戦略(素案)・福岡市人口ビジョン(素案)関連

1. 全体

	ご意見等	対応の考え方
市の役割・九州との関係	・広域的な地域構造の中での福岡市の役割を打ち出すべき。九州に対して人を返すような視点や、海外との関係性にも言及するなど、福岡市以外との関係性についても付け加えることが必要。	■素案修正 ・「1 総論」の中に、都市圏、九州、日本、アジア の中での福岡市の広域的な役割についての記載を加え ます。 【原案p. 4】
	・福岡市が九州全体でどういった役割を担っていくかを押さえていかないといけない。都市圏をどう動かしていくかの視点も必要。	
	・FUKUOKAの特長を戦略に反映すべき(アジアとの関係、 九州との関係等)。	
都市の成長と市民の生活	・九州から人を集めて人口を増やすという発想になっていると思われるが、長期的に人口が減ってくる中で、中小企業対策や労働の問題など市民の生活を守る視点に立った施策を打つべき。中小企業対策や労働の問題などではなく、 天神ビッグバンなど巨大開発を行う方向になっている。	□その他 ・日本・九州全体の人口減少が加速していく中で、都 市活力を維持し、持続可能なまちづくりを行うため、 総合計画に基づき、経済的な成長と安全・安心で質の 高い暮らしのバランスがとれた都市をめざし「生活の 質の向上と都市の成長の好循環の創出」を基本戦略と して取り組んでいきます。
市民参加の促進	・ソフト事業には市民の参加、協力が欠かせないが、事業や制度を市民に伝えるPRが不足している。 ・また、参加を促すため、NPOなど市民と行政との中間組織の育成が必要。	・平成27年度からは、「FUKUOKA NEXTプロジェクト」として、更なる周知と市民参画の機運の醸成を図っており、今後も積極的に進めます。
総合計画審議会の役割、 意見等の反映	・策定と実施、その他評価等(PDCAサイクル)における、総合計画審議会の関わり方や役割についての説明が不足している。 ・各審議会委員より提出された「意見・提言」等の反映に努めていただくことを要望する。	□その他 ・総合計画審議会では、さまざまな分野のご専門の方から総合戦略の「素案」についてのご意見をいただき、それを反映した上で「原案」を作成するものです。 ・今後、進行管理にあたっては、「原案」のp. 2に記載のとおり、評価、検証を総合計画とあわせて行い、その結果を総合計画審議会に報告することとしています。

2. 基本目標 I

2. 基本日標 1	ご意見等	対応の考え方
安定した雇用	・国の戦略の基本目標の一つ目にある「安定した雇用」がという文言が一切入っていない。	■素案修正 ・基本目標 I の「基本的方向」に国と同様に「安定した雇用」に関する記載を加えます。 ・また、基本目標 II (ア) 若者・子育て世代の経済的安定・経済的負担軽減の中で、就職支援を説明する記載を加えます。 【原案p. 6, 21, 22】
創業者の継続支援	・会社を維持するのは大変なことであり、創業3年後には半分近く減ってしまう状況であるので、雇用と企業が安定して増えていくために、創業後の経営者への相談やサポートなどの施策について検討すべき。	・基本目標 I (ア)福岡市グローバル創業・雇用創出特

2. 基本目標 I

	ご意見等	対応の考え方
	・外国人が福岡に住みたくなるには、家族を連れてきたいまちでなければならない。保育所での対応も含め、外国人が住みやすいということについては、まだまだ欠けている。	■素案修正 ・外国人が家族で住みたくなるまちづくりについて は、基本目標 I (ウ)新たな雇用につながる企業等の誘致の中で記載を充実します。 【原案p. 12】
企業誘致・人材定着のための環境づくり	・グローバル特区を打ち出すためには、福岡から世界に行く子どもたち、世界から来る子どもたちをどう受け入れるまちになるかを改めて検討していただければ。	・大学の魅力づくりや大学生を含めた社会づくりについては、基本目標 I (オ)活力につながる人材の還流・定着等の中に、記載があります。
	・出生率の話だけでなく、その先の教育環境の充実も必要。現状では進学、就職のタイミングで、より魅力ある首都圏に出てしまっているので、高校・大学の魅力づくりや地域の特性を活かした学校づくりと、そのPR、海外にも発信して国際交流もできるような教育環境をつくっていただきたい。	【原案p. 16】
	・大学・外国人のまちであることを生かし、大学や大学生・ 外国人を含めた(まきこんだ)社会づくり。	
具体的な数値目標	・国の総合戦略の基本目標と対応し若者向けの雇用数な どできるだけ具体的な数値目標を設けるべきである。	□素案のとおり ・総合戦略は、総合計画を基本として策定することと し、数値目標についても、総合計画の成果指標から抽 出して設定しています。若者向けの雇用数などの具体 的な数値目標については、分野別計画や個別事業の指 標設定の参考とさせていただきます。

3. 基本目標Ⅱ

3. 基本日標Ⅱ	ご意見等	対応の考え方
多子世帯支援	・今回単年度で多子世帯応援券を実施しているが、他都市の例を参考に、3人以上子どもがいる世帯の公共施設の無料化など、多子世帯へのインセンティブを検討すべき。	
地域における子育ての支援	・核家族が多くなり、なかなか出産できない、子どもを誰も見てくれない状況が生じている。一方、高齢者の健康寿命が短い状況もある。若い世代と高齢者のギャップを少なくすることで、高齢者はいきいきと生活でき、若い世代も安心して外で仕事ができるなど、住みよい社会ができればと思う。	■素案修正 ・基本目標 II (ウ)子ども・子育て支援の充実の中で、 幅広い世代による子育て支援についての記載を追加し ます。 【原案p. 26】
ワーク・ライフ・バランス	・人口が集中する都市の(合計特殊)出生率が低下することは、日本全体の出生率の低下につながることで、福岡市の責任は大変大きい。これは喫緊の問題であり、自治体だけでなく企業等と連携してしっかり取り組むことが自然増につながる。 ・人口ビジョンに記載の、「子育てと仕事の両立に必要なこと」についてのアンケート結果では、女性は「配偶者の理解や育児・家事の分担」、男性は「有給休暇を取りやすい」が1位となっており、男性が有給休暇を取りやすくなり家事の分担が進めば、女性も出産しやすく人口増につながるのではないか。この観点から、「男性の働き方を変える」ところに踏み込んだ項目を盛り込んでいただきたい。 ・子育てで一番大変なのは、一番身近な人の協力が得られないときであり、理解の促進が非常に重要。理解している人ばかりがセミナーに参加しているのが現実で、実際の育児参加率がなかなか向上しないのが現状。育児参加率は指標として必ず入れていただきたい。 ・男性や職場の理解により、妊娠・出産・育児をしやすい環境や、フレキシブルな勤務体制	■素案修正 ・基本目標Ⅱ(エ)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の中で、働き方の見直し(長時間労働の削減等)や企業との連携など、子育てと仕事を両立できる環境づくりについて、記載を充実します。 【原案p. 21、28】 ・総合戦略は、総合計画を基本として策定することとし、数値目標についても、総合計画の成果指標から抽出して設定しています。育児参加率などの具体的な数値目標については、分野別計画や個別事業の指標設定の参考とさせていただきます。

4. 基本目標Ⅲ

_4. 基本目標Ⅲ		
	ご意見等	対応の考え方
健康寿命	・健康寿命を延伸させる仕組みについて具体的な数値目標を掲げ、運動、食事、心の安定、医療など総合的な対応を。	■素案修正 ・基本目標Ⅲ(ア)生涯元気に活躍できる社会づくりの中で、健康寿命の延伸についての記載を充実します。 【原案p.30、31】 (なお、基本目標Ⅲの数値目標として「健康に生活している高齢者の割合」を設定しています。)
既存ストックの活用	・コンパクトシティと言うのであれば、お年寄りが亡くなって 荒れた一戸建てに若い人が住めるような施策など、住宅の シェアリングがきちんと出きる仕掛けを盛り込んでほしい。	□素案に記載あり ・基本目標Ⅲ(エ)福岡型のコンパクトな都市づくりと 地域活性化において、趣旨を記載しています。 【原案p. 37】
地域活性化	・福岡市全体を平均値で見るとまだまだ人口が増えて元気な都市と言われているが、実際は地域間で格差がある。人口減少や高齢化が進んでいる地域をどう見て、その特性をどう活かしていくかを、もう少ししっかりうたってほしい。	■素案修正 ・基本目標Ⅲ(エ)福岡型のコンパクトな都市づくりと 地域活性化の中で、地域特性を活かした地域活性化に ついて、記載を充実します。 【原案p. 30、37、38】